

永 生 病 院 だ よ り

# ゆるめき

【理事長のあいさつ】  
生活の質を守りながら、  
病気と上手に付き合える環境を。

【院長のあいさつ】  
一人ひとりの明日へつなげる  
医療と介護、チーム医療のつながり。

【健康ひろば】  
安全に、おいしく食べるには？

【行事報告&お知らせ】  
年度別年次有給休暇取得実績  
新採用者オリエンテーション&  
ひまわり託児所 第30期修了式  
まんのう町総合防災訓練に参加して

【編集後記】

■ 病院理念

信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

■ 基本方針

良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません  
患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします  
医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、全員参加で取り組みます

■ 患者の権利章典

- 1. 医療を受ける権利
- 2. 自己決定権
- 3. 知る権利
- 4. プライバシーに関する権利
- 5. 学習する権利
- 6. 参加と協同



● 年度別年次有給休暇取得実績



職員1人あたり1年間で10日以上、計画的な年休の取得を目指しています。 両立支援推進委員会

● 新採用者オリエンテーション& ひまわり託児所 第30期修了式  
令和6年3月19日(火)

新年度を迎え、新たに10名の職員が圭良会のメンバーに加わりました。  
圭良会の機能や特徴を理解し、医療人としての心構えを学び、1日も早く患者さまに信頼される存在になってほしいと思います。  
また、同じ日にひまわり託児所の修了式を行いました。今年度の修了式で30回目となりました。



● 南海トラフ地震に備えよう! まんのう町総合防災訓練に参加して 令和6年3月3日(日)

R6.3.3(日) 仲南小学校グラウンドにて、警察・消防本部・自衛隊・日本赤十字社・まんのう町消防団などの連携訓練に町民や医療・福祉関係職員も参加して、防災訓練が行われました。被災車両や倒壊家屋からの救出やジャッキやノコギリを使った救助訓練・消火訓練などを実際に見る事ができて大変勉強になりました。この訓練で体験した事や学んだ事を院内の防災訓練にも取り入れて、災害に対する危機意識を高めていきたいと思ひます。



【編集後記】

若葉の萌える頃となり、新しい年度が始まりました。約3年にわたるコロナ禍では、今まで経験しなかった問題に直面しながらも何とか乗り越え、様々な事を学びました。4月からは新採用者も加わり、また、広報誌を編集している委員会の名称も「接遇向上・広報委員会」に変わりました。よりフレッシュな気持ちで、患者様に役立つ情報を発信してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



永生病院 130床(一般病棟 40床・介護医療院 90床)

- 医療法人圭良会
- 永生病院 香川県仲多度郡まんのう町買田221-3 Tel 0877-73-3300
  - いこいの郷 (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655
  - いこいの家 (通所介護) Tel 0877-73-3718
  - げんきの郷 (通所介護) 香川県仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811
  - 森内科 香川県仲多度郡琴平町167 Tel 0877-73-4188
  - グループホームこんぴら (認知症対応型共同生活介護) Tel 0877-73-0811
  - サンライズこんぴら (小規模多機能型居宅介護) Tel 0877-58-8600

永生病院広報誌「ゆるめき」第75号  
発行元：医療法人圭良会 永生病院  
編集者：接遇向上・広報委員会  
住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3  
TEL:0877-73-3300  
FAX:0877-73-3202  
永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>  
eメールでのお問い合わせは [keiryokai@eisei-hp.or.jp](mailto:keiryokai@eisei-hp.or.jp)  
発行年月日:令和6年4月15日

# 地域に頼られる“かかりつけ医療機関”として、これからの人生100年時代を支えます。

生活の質を守りながら、病気と上手に付き合える環境を。

高齢化時代を迎えて、病気の重複化・複雑化がますます進む中、医療においても、必要以上に無理を伴う根治術にこだわり過ぎず、生活の質を守りながら、病気と上手に共生できる環境を提供することが使命となっています。

医療法人圭良会 永生病院は病院の中だけで終始していた医療に早くからピリオドを打ち、地域の医療と介護のネットワークづくりに取り組んでまいりました。平成10年にはケアミックス型（一般病床+療養病床）病院として運営。平成12年の介護保険制度発足を受け、通所介護、居宅介護支援事業所、さらにはグループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所と順次開設。そして、平成30年には、複数の疾患を持ち24時間の医療監視が必要な方、リハビリの継続を要する整形疾患・脳血管疾患の障害者の方などのために、療養病床をすべて介護医療院へと変更して対応しております。

高齢者や障害者がその人らしく暮らせる生活環境を提供できるよう、今後ともより良質な医療・介護サービスを実践すべく努力してまいります。



医療法人圭良会 理事長 森 伊津子  
もり いづこ

一人ひとりの明日へつなげる医療と介護、チーム医療のつながり。

私たちの仕事は“つなげる”ことだと思います。患者さまに必要な「予防」に気を配り、求められる「治療」を行い、「介護」につなげます。そのためには、どんなサポートが必要で、何をどう組み立てればよいのか。患者さま一人ひとりが抱える持病や環境が異なるように、それぞれ必要とするものも実に様々です。

永生病院では、その答えを職員全員参加のチーム医療の中から導き出します。様々な職種が集まり、それぞれ違った角度から検討。患者さまに最適なものを提案し、次につなげることを可能にしています。

医療ニーズがますます多様化する中、医療・介護についてどうすればよいのかお困りの患者さま・家族さまもおられると思います。まずは何なりとお気軽に私たちに声をかけて、永生病院につながっていただければと思います。

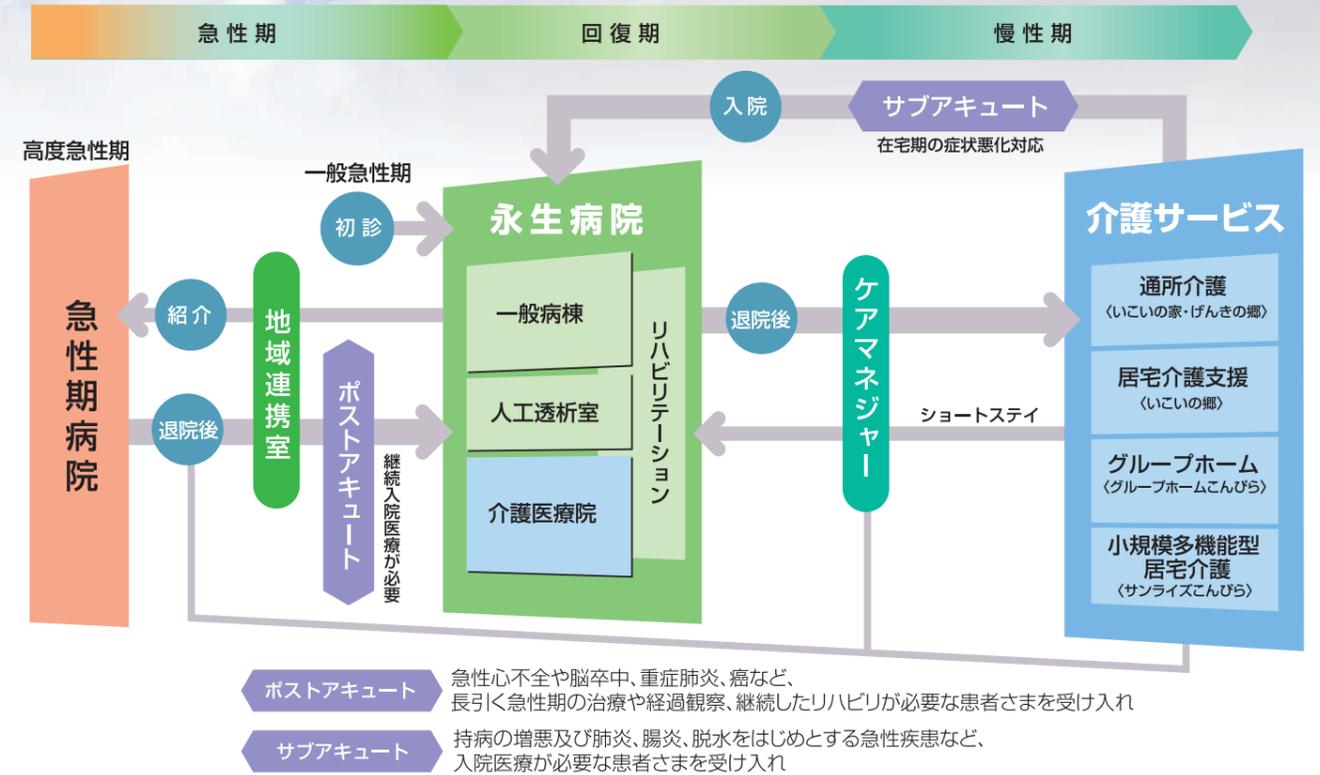
私たちは地域の頼れる“かかりつけ医療機関”として、地域の期待に沿うべく、職員一丸となって日々精進し、皆さまを明るい未来につなげられるよう全力を尽くします。



永生病院 院長 大島 弘世  
おおしま こうせい

## 「病院完結型」から「地域完結型」へ

急性期から回復期、慢性期をシームレスにつないで、高齢者や障害者が健常者と一緒に暮らせる地域社会の実現を目指します。



体の安心情報板

## 健康ひろば

第53回 テーマ

「安全に、おいしく食べるには？」

食事中にむせてしまうことが多くなった、食べるのに時間がかかるようになったなど、以前と比べて食事について困っていることはないでしょうか？今回は、食事を安全に食べることができる工夫について、紹介します。

### ●飲み込みやすくするポイント

- ①食べ物をやわらかくする→煮込む、蒸す、すりおろす、つぶす
- ②細かく刻んだものや口の中でバラバラになるもの、サラサラの液体には、とろみ剤や片栗粉でとろみをつける。
- ③ミキサーで潰したものは、ゼラチンや寒天で固める。
- ④とろみやつなぎの働きをする食材を使う。(すりおろした長芋、納豆、マヨネーズなど)



### ●食べるときに注意したい食品

- 口の中で噛むとバラバラになるもの → きのこと、ごぼうなど繊維質の多い野菜など
- 水分が少なく、パサパサしているもの → パン、カステラ、クッキーなど
- 酸味が強いもの → 酢の物、柑橘類など
- 口やのどにはりつきやすいもの → 焼きのり、もち、もなか、団子など

### ●食べる前に...

口の体操やバタカラ体操をしましょう。舌や頬の筋肉を動かすことで唾液がよく出ようになり、飲み込みやすくなります。



食欲が低下すると、体力が回復するのに時間がかかります。自身の食べやすい食事の形態、とろみなどを調整し、水分をこまめに摂取するようにしましょう。

リハビリテーション科